

東京大学緊急討論会

震災、原発、そして倫理

東日本大震災から突然始まった、新しい日本の相貌に対面して、アカデミズム、そして哲学・倫理は、何をなすうるか。学問の真価が問われる局面に、いま向きあう。

プログラム

▶ 導入

一ノ瀬正樹（人文社会系研究科）

モデレーター兼コメンテーター

無常と不確実性にまみれて

— 事実・評価・対策の三分を踏まえつつ —

▶ 提題

島菌 進（人文社会系研究科）

放射能の影響の疫学と戦後日本の医学

中川 恵一（医学系研究科）

がんと放射線

伊東 乾（情報学環）

シュレーディンガーのチェシャ猫は笑うか？

— 確率的創発と社会的責任 —

影浦 峡（教育学研究科）

誰が、どこから、語っているのか

— 「専門家」の情報発信と社会情報リテラシー —

▶ ディスカッション

2011年7月8日（金）

午後1時30分より

東京大学本郷キャンパス

法文2号館2階一番大教室

（来場無料）